

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

通学課程（学部）

全学共通教育	<p>（情報リテラシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きていくための基本的な知識を基に、コンピュータを活用する能力を持っている。 <p>（人間を考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの実践を通して、協調することができ、運動文化のルール、マナーを理解している。 ・健康の保持増進に必要な知識を身につけている。 ・幅広い教養的知見を生かし、問題を把握し、適切に判断することができる。 ・自ら問いかけ仮定し、自ら結論を導くことができる。 <p>（言葉とコミュニケーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ以上の外国語を用いて、簡単な表現（口頭・文章）をすることができる。 ・外国語の学びを通して、日本語の特徴を述べることができる。 ・他者の意見を聴き、自らの意見と客観的事実に分類することができる。 ・自律的に学習する姿勢を身に付け、日常に必要な基本的コミュニケーション技能を身につけている。 <p>（歴史と文化を知り、創る）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化を知り、将来について自分の意見を述べるすることができる。 ・世界の多様な文化を寛容に受け入れ、その差違の理由を述べることができる。 <p>（社会の営みを理解する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題を把握し、その解決方法を述べるすることができる。 ・情報社会に関わるモラルを理解し、正しく判断することができる。 <p>（自然と科学を理解する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の視点から、その在り方と将来について、自分の意見を述べるすることができる。
1. 理工学部	<p>（知識・理解）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及び他国の文化・歴史・社会的背景に関する知識と教養を有している。 2. 理工学に関する幅広い基礎知識・技術を有している。 3. 各学系の専門分野に関する知識・技術を有している。 <p>（思考・判断）</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 課題の全体を把握し、自分がやるべきこと・できることを割り出し、実行することができる。 5. 実験・調査・データ解析を基に問題に対する有効な手段・対策・結論を導き出すことができる。 <p>（関心・意欲）</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 自主的・継続的に学習し、技術の研鑽に励むことができる。

	<p>7. 地球的視点で多面的に捉えることができる。 (態度)</p> <p>8. 様々な意見を持つ仲間とチームのために問題解決に取り組むことができる。 (チームワークスキル)</p> <p>9. 技術者倫理を理解し、社会の問題解決のために、技術者として実践、行動することができる。(奉仕の心) (技能・表現)</p> <p>10. 問題発見・解決のために必要な情報を収集し、実験・調査・データ解析に係る計画を立案することができる。</p> <p>11. 実験・調査・データ解析を行い、事実を把握し、自分の意見を論理的に説明することができる。</p> <p>12. 事実を正確に伝える文章を作成し、コミュニケーションをはかることができる。</p>
2. 人文学部	<p>(知識・理解)</p> <p>1. 文化、コミュニケーション、社会、心理、言語、福祉の各分野について、専門的な知識を獲得し体系的に理解する。</p> <p>2. 激しく変容する世界にあって、広い視野から問題をとらえることのできる人文学的教養を身につける。</p> <p>3. 専門諸分野の具体的な諸課題を分析し対応することができる確かな知識・技術を身につける。 (思考・判断)</p> <p>4. 他者理解や異文化理解を深め、複眼的な視点を持つことができる。</p> <p>5. 人間や社会の問題について、客観的、総合的に思考することができる。</p> <p>6. 専門的な情報や知識を駆使して、問題を発見し論理的に分析することができる。 (関心・意欲)</p> <p>7. 人文学の学びを通して学問的な関心を高め、自律的な学習をすすめることができる。</p> <p>8. 人間と社会が抱える諸課題について、主体的かつ実践的にかかわることができる。 (態度)</p> <p>9. 学ぶことを通して、人間の尊厳に対する関心を深めることができる。</p> <p>10. 広く人間と社会の問題に対して学ぶ姿勢を保つことができる。</p> <p>11. 価値観や学問の違いを認めつつ、他者と交流し協調することができる。</p> <p>12. 深い人間理解にもとづいて主体的に活動することができる。 (技能・表現)</p> <p>13. 専門諸分野の知識・技能を使い、創造的かつ具体的に課題に対応できる専門的能力を獲得する。</p> <p>14. 他職種と連携して仕事をすすめることのできる組織力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を獲得する。</p> <p>(1) 国際コミュニケーション学科 (知識・理解)</p> <p>1. 仕事をするうえで必要となる文書作成・文章読解力を身につけさせる。</p> <p>2. 異文化を理解し、言語・文化的な知見を備えたコミュニケーション能力を身につけさせる。 (思考・判断)</p> <p>3. 目的・場面に応じて、言語・非言語メッセージを適切に使える運用能力を身につけさせる。</p> <p>4. 矛盾や問題点を明らかにする分析能力と、それらに主体的に取り組む実践力を身につけさせる。 (関心・意欲)</p> <p>5. 目的意識をもって情報を収集・分析し、それを活用できる能力を身につけさせる。</p>

6. 積極的に問題解決にあたり、確実かつ適正にそれを処理できる能力を身につけさせる。
(態度)
7. 他者と協調・協働するための円滑なコミュニケーション能力を身につけさせる。
8. 遵法精神をもって、組織で問題解決を図れる能力を身につけさせる。
(技能・表現)
9. 獲得した知識・技能を総合的に活用し、課題を解決する応用力を身につけさせる。
10. 日本語、中国語、英語の言語システムを理解した、社会的リテラシーを身につけさせる。

(2) 人間社会学科

(主体性)

1. 現実の社会的な問題に向き合うことができる。
2. 自分の考えを明確にすることができる。

(社会性)

3. 自分の考えを他者に伝えることができる。
4. 多様な他者と協働して、問題解決にあたることができる。

(柔軟性)

5. 多様な他者の存在を理解することができる。

(論理性)

6. 社会的事象を、広い視野から論理的に考察することができる。

(分析力)

7. 社会調査の技法を理解し、活用することができる。

8. 社会的事象を、実証的に分析することができる。

(主体性・社会性・柔軟性・論理性・分析力)

9. 不断に自分の人生をデザインすることができる。

(3) 日本文化学科

(知識・理解)

1. 日本固有の伝統文化についての基本的な知識を身につけている。

2. 日本語のしくみについて確かな知識を身につけている。

(思考・判断)

3. 日本固有の伝統文化の形成過程について正しく理解し、日本固有の伝統文化の多様性を具体的に述べるることができる。

4. 日本の代表的な作品や文章をみずからの力で正確に読解できる。

(関心・意欲)

5. 日本文化だけでなく、外国文化にも強い興味・関心を寄せることができる。

(態度)

6. 日本固有の伝統文化を大切にできる。

(技能・表現)

7. 日本固有の伝統文化における課題について説明できる。

8. 世界の中の日本文化の特徴を説明できる。

9. 日本文化と外国文化を具体的に比較し、両者の共通点と相違点を説明できる。

10. 海外を含む多様な人とコミュニケーションがとれ、自分の理解や意見を正確に発信できる。

(4) 福祉実践学科

(知識・理解)

1. 社会福祉に関する制度や政策を理解している。

2. 福祉教育ニーズに応えられる地域開発力を身につけている。

3. 面接に関する理論と技術を活用できる。

4. 地域においてネットワークを構築できるコミュニケーション能力を身につけている。

(思考・判断)

5. 人間福祉に関する幅広い教養を身につけ、その中の専門とする分野に関する深い知識や技能を修得している。

	<ul style="list-style-type: none"> 6. 自ら福祉の視点から情報を発信することができる。 7. ソーシャルワークの方法やスキルを活用できる。 (関心・意欲) 8. 社会福祉や介護福祉等の学問を基盤とした専門性を身につけている。 9. 社会福祉の各分野及び様々な職業において中核的・指導的な役割を担うことができる能力を持っている。 10. 課題を明確に把握し、それを共有させる力を持つ。 (態度) 11. 他者と協調・協働するための円滑なコミュニケーション能力を持つ。 12. 問題解決のためにチームで協力することができる能力を持つ。 (技能・表現) 13. さまざまな場面において、他者の意見を的確に把握できる。かつ自らの思考や意見を的確に表現するコミュニケーション能力を身につけている。 14. ノーマライゼーションを社会に広めていく力を身につけている。
3. 経済学部	<ul style="list-style-type: none"> (知識・理解) 1. 経済学の基礎知識を修得している。 2. 法学・商学・会計学の基礎知識及びビジネスの実践的な知識を修得している。 3. 多様な人とコミュニケーションを図るための歴史的・文化的教養を有している。 (思考・判断) 4. 経済社会の諸問題に対して、経済学的な視点で分析することができる。 5. 経済学の知識とスキルを用いて経済社会の諸問題に対する解決策を提案することができる。 6. 経済社会の諸問題を世界的視野で捉えることができる。 (関心・意欲) 7. チームにおける自分の役割と任務を認識し、主体的にチームに貢献することができる。 (態度) 8. 異なる意見を受け止め、理解することができる。 (技能・表現) 9. 経済社会の動向を経済学に必要な数量的手法を用いて説明することができる。 10. 文書又は口頭により、自らの考えを論理的かつ正確に伝えることができる。 11. 地域の経済社会的課題を解決するために必要な制度上の知識と実践的手法を身に付けている。
4. 情報学部	<ul style="list-style-type: none"> (知識・理解) 1. コンピュータのハードウェアとソフトウェア、及び数学の基礎的知識が身につけている。 2. ネットワーク、アプリケーションプログラミング、情報処理に関するコンピュータの基礎的知識が身につけている。 (思考・判断) 3. コンピュータに関わる工学的な課題を論理的に理解し、判断することができる。 (関心・意欲) 4. 技術者としての倫理観と専門知識を有し、責務を負うことができる。 5. 各分野で利用されているプログラミング言語を用いて、実用的なプログラミングができる。 (態度) 6. 自然科学、社会科学、人文科学等の分野において、情報処理技術を幅広く活用することができる。 (技能・表現) 7. 様々な課題に対して論理的な思考を簡単な文章で表現することができる。

	<p>8. 自律的に学習し、日常生活をしていく上で必要な表現力、コミュニケーション力など基本的な技能が身につけている。</p> <p>9. 最新の情報知識、技術知識の概要を理解し、その応用方法を簡単な文章で説明することができる。</p> <p>10. 地域を中心とした社会が直面する様々な変化において、諸問題を発見し自律的に解決できる能力を身に付けている。</p>
5. 教育学部	<p>(知識・理解)</p> <p>1. 教育の歴史理解を踏まえ、教育について多様な考え方があることを知り、自らの教育観を形成することができる。</p> <p>2. 学校教育または保育・幼児教育における専門的知識を有している。</p> <p>(思考・判断)</p> <p>3. 教育指導者としての資質を身に付け、教育現場や関連する領域において応用することができる。</p> <p>4. 教育的関わりにおいて思慮深く創意工夫をすることができる。</p> <p>(関心・意欲)</p> <p>5. 幼児・児童・生徒を観察し、その人間性を理解しようとする。</p> <p>6. 教育指導者としての技術を教育的関わりに応用しようとする。</p> <p>(態度)</p> <p>7. 幼児・児童・生徒と適切にコミュニケーションをとることができる。</p> <p>8. 社会生活を営むうえで他者と適切にコミュニケーションをとることができる。</p> <p>(技能・表現)</p> <p>9. 議論の場において、他者の意見を理解しつつ自らの意見を的確に表現することができる。</p> <p>10. 学校教育または保育・幼児教育における指導案の作成・教材研究・授業実践をすることができる。</p>
6. 経営学部	<p>(知識・理解)</p> <p>1. 経営の分野における知識と技術を理解する。</p> <p>2. 企業の社会的責任と統治能力を理解する。</p> <p>3. 正しい経営活動を実践する知識を身につける。</p> <p>(思考・判断)</p> <p>4. 人間関係と組織活動を重んじながら行動することができる。</p> <p>5. 経営学の知識を生かしながらも、硬直的な理論にとらわれず柔軟な行動をとることができる。</p> <p>6. 経営学の知識を用いて論理的に物事を理解することができる。</p> <p>(関心・意欲)</p> <p>7. 世の中の動きに関心をもち、様々な情報を整理して現状を把握することができる。</p> <p>(態度)</p> <p>8. 社会人、企業人として生涯自発的に学ぶ能力を身につける。</p> <p>9. 社会人、企業人として地域社会の一員として貢献できる能力を身につける。</p> <p>10. 経営活動が社会に与える影響を理解する。</p> <p>11. グループの一員として、同僚と共同して作業を行うことができる。</p> <p>(技能・表現)</p> <p>12. 身に付けた経営学の知識を生かし、企業活動に役立てることができる。</p> <p>13. 科学的な調査手法や分析手法を用いて論理的に物事を理解することができる。</p>
7. デザイン学部	<p>(基本力)</p> <p>1. デザインに必要な知識を有し、社会やビジネスとの関連の中で考察することができる。</p> <p>2. 社会に対して様々な関心を持ち、自ら参画することができる。</p> <p>3. 困難に対してあきらめず、改善や解決のために工夫と努力を続けることができる。</p> <p>(企画力)</p>

	<p>4. 身の周りの生活や社会の問題を分析し、問題点を発見することができる。</p> <p>5. 身の周りの生活や社会の問題を解決する具体的なアイデアを発想することができる。</p> <p>6. 社会に必要な「ヒト・コト・モノ」の新しい可能性を具体的な企画にまとめることができる。 (表現力)</p> <p>7. 企画アイデアを、資料や具体案として美的に構成する表現技術や加工技術を身につけている。</p> <p>8. 自らの考えを資料を用いて、文章及び口頭で明快にプレゼンテーションすることができる。</p> <p>9. 円滑にコミュニケーションをとり、チームを以て協力、協調することができる。</p>
8. 心理学部	<p>(知識・理解)</p> <p>1. 心理学専門職を目指す基礎として、心理学の専門的知識と技能を修得している。</p> <p>(思考・判断)</p> <p>2. 人間にまつわる諸問題について、科学的かつ多様な視点から考察できる。</p> <p>(関心・意欲)</p> <p>3. 心理学の専門的知識と技能とを修得するための実習に着実かつ真摯に取り組める。</p> <p>(態度)</p> <p>4. 研究や対人援助の上での、基本的倫理を修得している。</p> <p>(技能・表現)</p> <p>5. 仮説検証の論理と実験計画法に従って、データを収集・分析し、結論を導くことができる。</p> <p>6. 実証的な研究論文が作成できる。</p> <p>7. 実証科学の規範に則って、研究成果を公表できる。</p>